

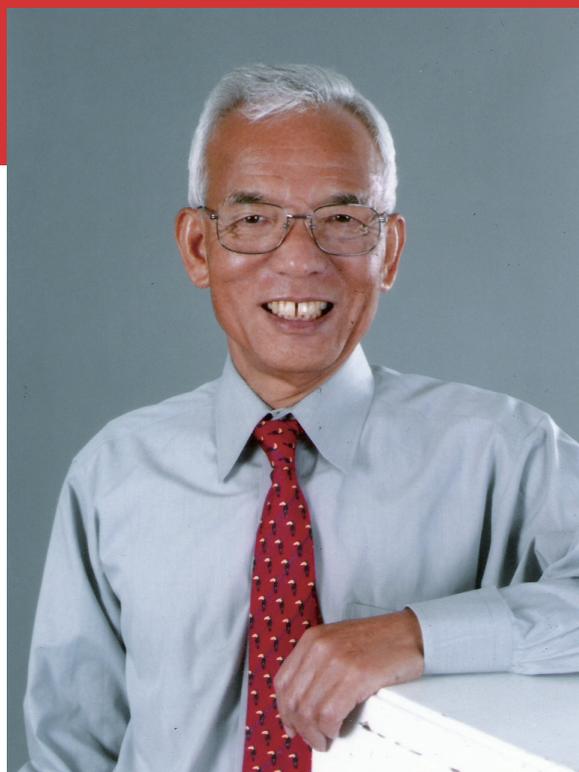
ノーベル物理学賞受賞 真鍋淑郎博士（新宮町出身）に 「四国中央市市民栄誉賞」

1月17日（月）、本市新宮町出身で2021年ノーベル物理学賞を受賞されました真鍋淑郎博士に「四国中央市市民栄誉賞」が授与されました。

「四国中央市市民栄誉賞」は、国際的に優れた功績を残し、四国中央市の名声を高めた者に対して贈られるもので、真鍋博士が初めての受賞者となります。

真鍋博士のノーベル賞受賞の偉業は、市にとって本当に明るいニュースであり、栄誉なことでありました。その功績をたたえるために、賞状と記念品をアメリカ在住の博士の元に贈ります。

ご本人の帰国が叶わないために授与式は行いませんが、今回の受賞に際して、真鍋博士より市民の皆さまにメッセージが届いておりますのでご紹介します。



真鍋淑郎博士のプロフィール

1931年四国中央市（旧新宮村）生まれ。新宮尋常高等小学校から旧制三島中学校（現県立三島高等学校）に進む。東京大学理学部を卒業後、58年同大学博士課程を修了。理学博士。同年渡米し、アメリカ国立気象局で勤務。05年からプリンストン大学 上席研究員。

【受賞歴】

- ・ウイリアム・ボウイ・メダル
- ・ベンジャミン・フランクリン・メダル
- ・クラフォード賞
- ・ノーベル物理学賞 など

愛媛県四国中央市 市民の皆様

この度は、四国中央市市民栄誉賞を頂けることのお知らせを頂き、謹んでお受けいたします。

大変名誉なことです。

有難うございます。

故郷に帰り、直接皆様にお会いして、この喜びと一緒に祝いたいのですが、このコロナの下かありませんが、近い将来、お訪ねできるのを楽しみにしています。

四国中央市の益々の発展を祈り、ご挨拶に代えさせていただきます。

米国プリンストン市 真鍋 淑郎

市長の ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

トンネルの出口はもう近くにきている！

寅年も、もうそれぞれ個人個人で心と体の準備も終わり、気がつけばひと月が過ぎ、もう立春である。その前日が節分で、季節を分ける、冬と春の仕分けである。

今年は、コロナの別口が流行している。私の仕事もそれに応じて振り分けられている。

残念ながら、さまざまな施設、会合に制限をかけるを得ない状況になってきている。公的な私の日程もあつてないようなものである。命と健康が第一である。それを信じて行動するしかない。

心は節分のように仕分けが簡単にできない。豆も内と外にどう投げたらいいのやら、戸惑う。

幹部会議をやっても、みんな心の重さが顔に出ている。今自分にできることを、みんなの協力を仰ぎ、感染者を一人でも少なく、健康な人を一人でも多く、日々頑張るしかない。

トンネルの出口はそこにあると信じて！

